

1. 2026 年度活動計画

① スタディツアー事業と子供の英語教育ツアー

新型コロナ前に実施していた桜丘高校のスタディツアーが 2026 年度より再開される。教員 2 名、生徒 15 名が 8 月に実施する計画となっている。また、イカオ・アコが主催ではないが、日本福祉大学附属高校のツアーの一部日程（マングローブ植林、慰霊碑訪問、山間部で植林）を受け入れる。一般のスタディツアーとともに子供の英語教育ツアーの宣伝を JST とともに強化する。

② 日本 NGO 連携無償資金協力

新規の N 連プロジェクトを計画する。

③ イオン環境財団

「人と自然が共生する里山としてのマングローブ林の再生（第 3 年次）」を実施する。植林サイトは EB マガロナ群にある。行政、住民団体が積極的で、エコツーリズムによる地域振興に力を入れており、ここに NGO が加わることでさらに相乗効果を上げることができる。植林余地は 100ha あり、長期の支援が望める。リコージャパンの植林の一部もここで行う。

④ 地球環境基金

ボホール島の Mabini 郡で観光振興と 3R 事業を同時に行う、新コンセプトのプロジェクト。巨大な鍾乳洞と美しいマングローブ林が売りである。

⑤ 緑の募金 1

緑の募金事業の 3 年目の植林事業が 6 月末で終了する。Tabao Baybay 村で植林を実施したが、苗はほぼ全滅である。サイトが外洋に面しており、高潮への各種対策が効果を発揮しなかった。

⑥ 緑の募金 2

単年度の事業。SDGs の考えを取り込んだ植林事業。クラウドファンディングが成立し、養殖池の跡地に植林を実施する。

⑦ パガパットフェスティバル

規模をコロナ前の規模に戻してパガパット祭りを 7 月に実施する。

⑧ 企業連携

8.1 ニチバン株式会社

「ニチバン巻心 ECO プロジェクト」を継続する。2019 年度に実施した社内研修の現地受け入れを再開する。

8.2 リコージャパン株式会社

7.5 万本のマングローブ植林の寄付をいただく予定である。8 月スタート。

8.3 その他の企業

カーボンクレジットに関して、Climate Tech の Carbontribe Labs 社と連携

海水淡水化に関して、Waqua 社と連携。小規模であるが Snday Morning Factory から植林の寄付を期待したい。

⑧ 国内活動

デロイトトーマツからコンサルテーションを引き続き受ける。